

人材こそが日本が世界に誇る最大の資源である。全ての人材が能力を高め、その能力を存分に発揮できる「全員参加の社会」の構築には、働き手の数（量）の確保と労働生産性（質）の向上の実現が求められる。「平成26年版 労働経済の分析」では、労働者を育成し、その就労意欲を引き出すことによって、企業の成長へとつなげていく人材マネジメントについて分析するとともに、職業経験を通じた人的資本の蓄積によって職業能力をさらに高め、安定した生活を送ることのできる職業生涯を通じたキャリア形成に関して分析を行った。

## 目 次

### －人材力の最大発揮に向けて－

#### 第1章 労働経済の推移と特徴

第1節 一般経済、雇用・失業、労働時間の動向	1
第2節 物価、賃金の動向	5
第3節 勤労者家計の動向	9
第4節 地域の雇用・賃金の動向	11
第5節 労使関係の動向	13

#### 第2章 企業における人材マネジメントの動向と課題

第1節 市場環境の変化と労働市場への影響	15
第2節 我が国の企業の人材マネジメントの変化と特徴	19
第3節 人材育成の現状と課題	23
第4節 企業パフォーマンスの向上と中核的人材の育成に向けた人材マネジメントの課題	27

#### 第3章 職業生涯を通じたキャリア形成

第1節 我が国における職業キャリアの現状	31
第2節 生涯における出来事と職業キャリア	37
第3節 労働者のキャリアアップに向けた課題	41

まとめ	45
-----	----